

実証授業後アンケート調査結果

2022年3月4日

株式会社富士通総研

目次

- サマリー(生徒からの回答)
- 年金①
- 年金②
- 医療①
- (参考)アンケート調査票

サマリー(生徒からの回答)

- 社会保障のイメージの変化は、年金②及び医療①では、マイナス方向の生徒が一定割合いた。
- 社会保障がみんなで支え合う制度であることへのイメージは、どの授業でも概ね持つことができた。
- 保険料を支払う必要性は、どの授業でも概ね理解できたが、年金②ではどちらかといえば理解できなかった生徒が一定割合いた。
- 授業で使用した教材は、どの授業でも概ね分かりやすいとの評価だった。

	年金① (35名)	年金② (22名)	医療① (40名)
Q1. (授業前後での) 社会保障のイメージの変化	プラス方向 : 42.9% 変化なし : 48.6% マイナス方向 : 8.6%	プラス方向 : 36.8% 変化なし : 42.1% マイナス方向 : 21.1%	プラス方向 : 40.0% 変化なし : 32.5% マイナス方向 : 27.5%
Q2. Q1「授業後」の回答に影響を与えた学習内容	「公的年金制度の仕組みと必要性」(60.0%)	「高齢者の立場で保険料について考えたとき」(54.5%)	「国民皆保険制度の必要性」(52.5%)
Q3. 社会保障がみんなで支え合う制度であることへのイメージ	「どちらかといえば持つことができた」(48.6%)、「持つことができた」(42.9%)	「持つことができた」(45.5%)、「どちらかといえば持つことができた」(45.5%)	「持つことができた」(67.5%)、「どちらかといえば持つことができた」(32.5%)
Q4. 保険料を支払う必要性	「理解できた」(94.3%)、「どちらかといえば理解できた」(5.7%)	「理解できた」(68.2%)、 「どちらかといえば理解できなかった」(18.2%)	「理解できた」(80.0%)、「どちらかといえば理解できた」(20.0%)
Q5. 授業で使用した教材	「分かりやすい」(68.6%)、「どちらかといえば分かりやすい」(25.7%)	「分かりやすい」(63.6%)、「どちらかといえば分かりやすい」(36.4%)	「分かりやすい」(67.5%)、「どちらかといえば分かりやすい」(27.5%)

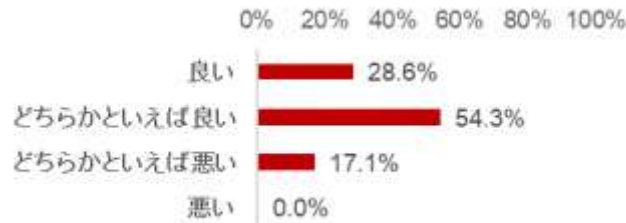
年金①

年金① 生徒からの回答

■ アンケート回答者数:35名

■ Q1. (授業の前後での) 社会保障のイメージの変化を回答してください

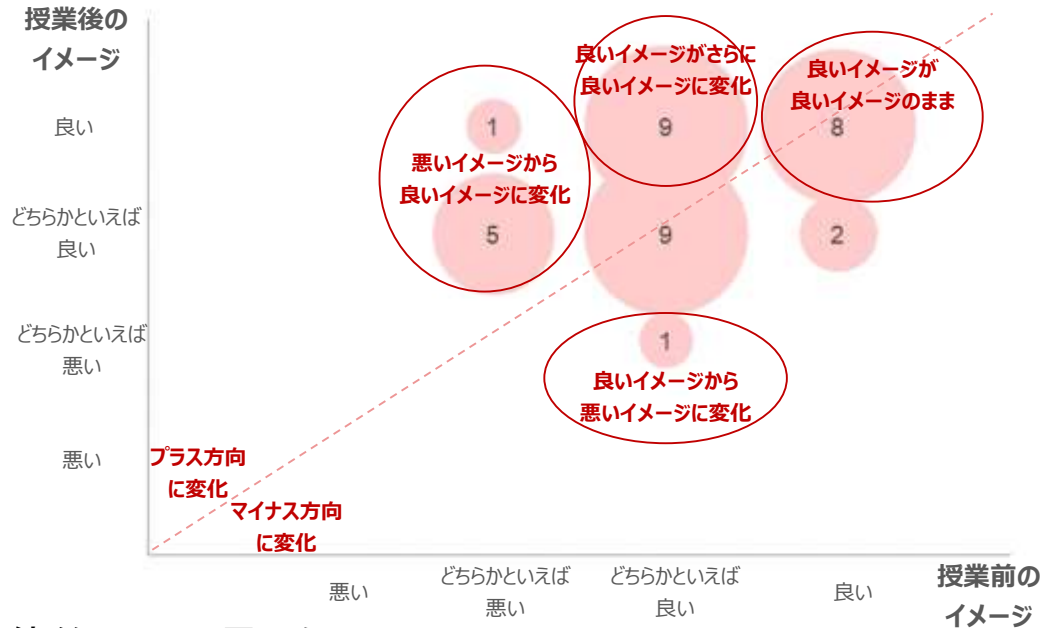
■ 授業前



■ 授業後



■ イメージの変化のバブルチャート



→授業実施により、社会保障のイメージは全体的には上昇した。

<良いイメージから悪いイメージに変化した1名>

Q2 授業後のイメージに与えた学習内容は何か？

→ 「2時間目：少子高齢社会における公的年金制度」、「2時間目：人生100年時代のリスク」

Q3 社会保障がみんなで支え合う制度であることについてイメージが持てたか？ → 「持つことができた」

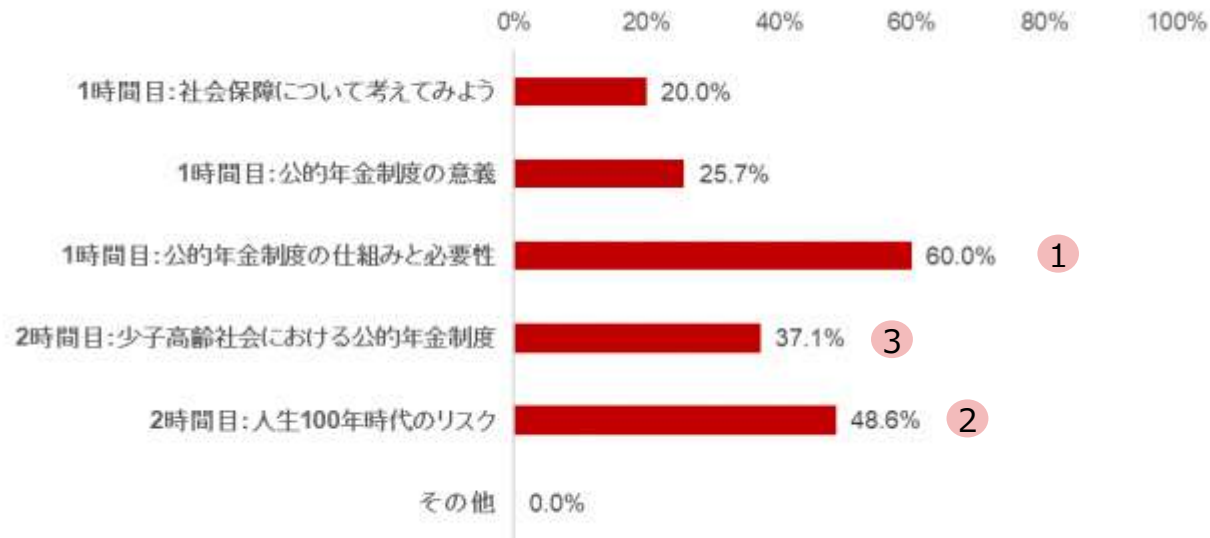
Q4 保険料を支払う必要性について理解できたか？ → 「理解できた」

Q5 教材は分かりやすかったか？ → 「どちらかといえば分かりやすい」

→ 社会保障の必要性・重要性についてネガティブな考え方になったのではなく、日本の社会保障制度の問題点・課題を認識したものと考えられる。

年金① 生徒からの回答

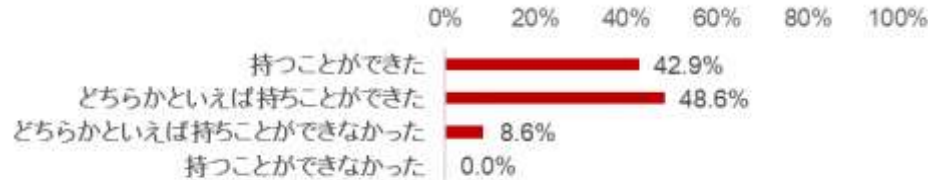
- Q2. 授業で学習した次の内容の内、Q1の「授業後」の回答に影響を与えたものを選択してください(複数選択可)



→「1時間目：公的年金制度の仕組みと必要性」(60.0%)、「2時間目：人生100年時代のリスク」(48.6%)、「2時間目：少子高齢社会における公的年金制度」(37.1%)の順に多かった。

年金① 生徒からの回答

- Q3. 人生には様々なリスクが潜んでいて、社会保障がリスクに対してあなた自身を含めてみんなで支え合う制度であることについて、具体的にイメージを持ってましたか



→「どちらかといえば持つことができた」(48.6%)、「持つことができた」(42.9%)の順に多かった。

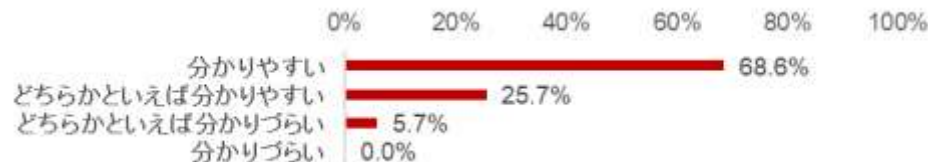
- Q4. 社会人になったら公的年金保険の保険料を支払うことになっていますが、支払う必要性について理解できましたか



回答理由
・将来の自分の生活のためになるから。(4名)
・今後増えていく高齢者の役に立てるから。(2名)
・何も知らなかったから理解を深めることができた。(1名)

→「理解できた」(94.3%)、「どちらかといえば理解できた」(5.7%)の順に多かった。

- Q5. 授業で使用した教材は分かりやすかったですか



→「分かりやすい」(68.6%)、「どちらかといえば分かりやすい」(25.7%)の順に多かった。

年金① 生徒からの回答

- Q6. 社会保障について理解を深めるに当たって、授業内容として良かったと思うところをお書き下さい

ご意見
<p>(指導過程)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他の人と意見交換をすることで理解を深められた。(2名) ・将来のことについて、自分のこととして考える時間があったこと。(2名) ・冊子を使いながらだと、図などが身近にありすぐ確認できるため分かりやすかった。(1名) <p>(教材)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教材に絵や図、グラフ等があって分かりやすかった。(1名)

- Q7. 社会保障について理解を深めるに当たって、授業内容として改善すると良いと思うところをお書き下さい。

ご意見
<p>(指導過程)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一人で深く考える時間がもう少しほしかった。(1名) <p>(教材)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・副教材12スライド目の「公的年金制度とライフコース」の上部の絵が少し分かりづらかった。(1名) ・図だけではなくて、文章も少しあった方が分かりやすいと思った。(1名) ・スライドの文字をもっと大きくして欲しい。(1名) <p>(学習内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・消費税について教えてほしかった。(1名) ・社会保険についてもっと詳しく教えて欲しい。(1名) ・昔の人が年金としてもらっていた金額が知りたい。(1名)

年金① 教員からの回答

■ Q1. 学習目標と教材との整合性

- 教材は学習指導要領の目標に沿っていると思いますか。
→どちらかといえば思う。(財政の持続可能性と関連づけて扱うこと、受益と負担の均衡や世代間の調和のとれた制度の在り方について触れられていないため)
- 教材は今回の授業を受けた生徒の資質・能力に沿った内容であると思いますか。
→どちらかといえば思う。(本校生徒が理解できる内容)

■ Q2. 指導計画等への教材の活用

- 教材は、授業前の指導計画や授業準備の際に活用できるものになっていますか。
→どちらかといえば活用できる(オリジナル説明の補足を多く加えたが大筋は理解可能。
ただし、若手教員の場合、授業時間が余る可能性がある)
- 教材は、授業後の生徒の学力評価において、活用できるものになっていますか。
→活用できない。(評価については全く触れていなかった)

■ Q3. 授業での指導過程における教材の貢献

- | | |
|--------------------------|-------|
| □ 1時間目: 社会保険について考えてみよう | 活用できる |
| □ 1時間目: 公的年金制度の意義 | 活用できる |
| □ 1時間目: 公的年金制度の仕組みと必要性 | 活用できる |
| □ 2時間目: 少子高齢社会における公的年金制度 | 活用できる |
| □ 2時間目: 人生100年時代のリスク | 活用できる |
| □ その他(自由記述): | |

教材そのものは活用できるが、ペルソナを設定し、授業の流れを組み込むことが重要

年金① 教員からの回答

■ Q4. 教材の良いところをお書き下さい

1時間目のワーク4の質問によって、生徒が自分ごととして考えられているため、ここは残した方がよい。

■ Q5. 教材について改善すると良いところをお書き下さい

改善が必要。財政の持続可能性と関連づけて扱うこと、受益と負担の均衡や世代間の調和のとれた制度の在り方について触れ、正解がない問いを考えさせる工夫をするべきである。

■ Q6. その他モデル授業案全体に関する意見・感想をお書き下さい

社会保障の授業で4時間は長いため、制度を通して社会保障の理念を伝えるような内容に絞るのはどうか。撮影では、来年度も「またやりたい」と思える授業を行いたい。

■ Q7. 授業実施に当たって

- 授業時間: 2時間
- 授業を実施した学年: 1年生
- 授業を受けた生徒数: 35名(欠席1名)

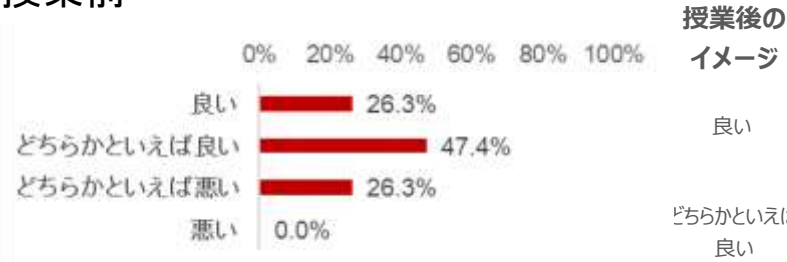
年金②

年金② 生徒からの回答

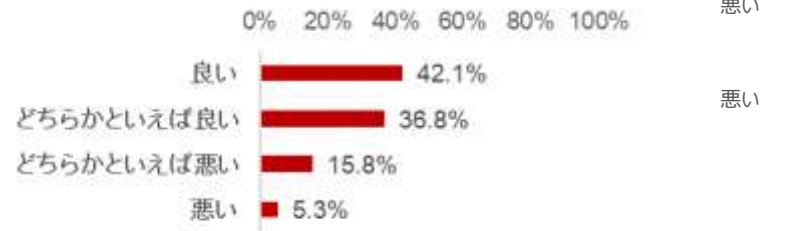
■ アンケート回答者数:22名

■ Q1. (授業の前後での) 社会保障のイメージの変化を回答してください(回答者数:19名)

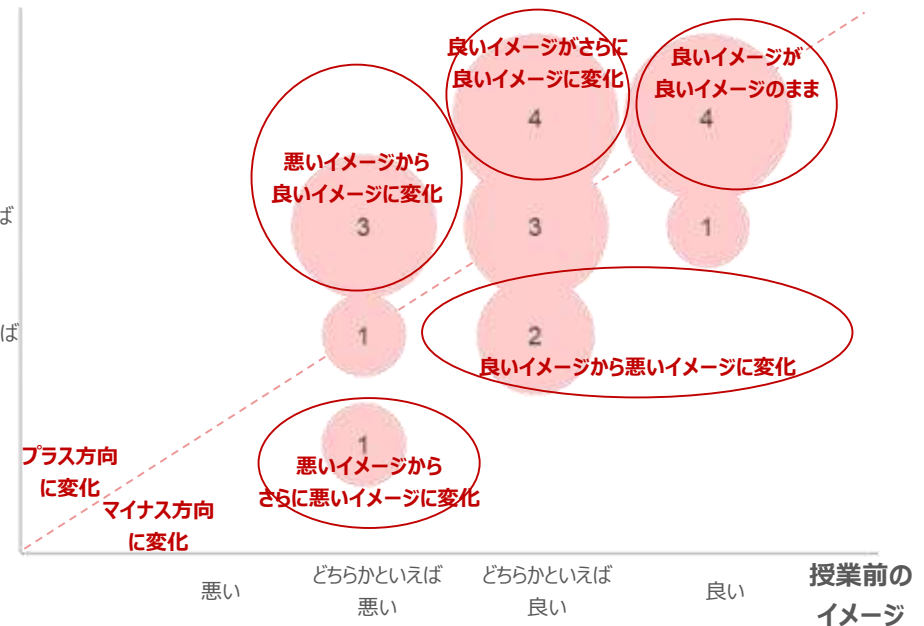
■ 授業前



■ 授業後



■ イメージの変化のバブルチャート



→授業実施により、社会保障のイメージは全体的には上昇した。

＜良いイメージから悪いイメージに変化した2名、悪いイメージからさらに悪いイメージに変化した1名＞

Q2 授業後のイメージに与えた学習内容は何か？

→「1時間目：高齢者の立場で保険料について考えたとき」（3名中2名）

Q3 社会保障がみんなで支え合う制度であることについてイメージが持てたか？ → 「持つことができた」（2名）、「どちらかといえば持つことができた」（1名）

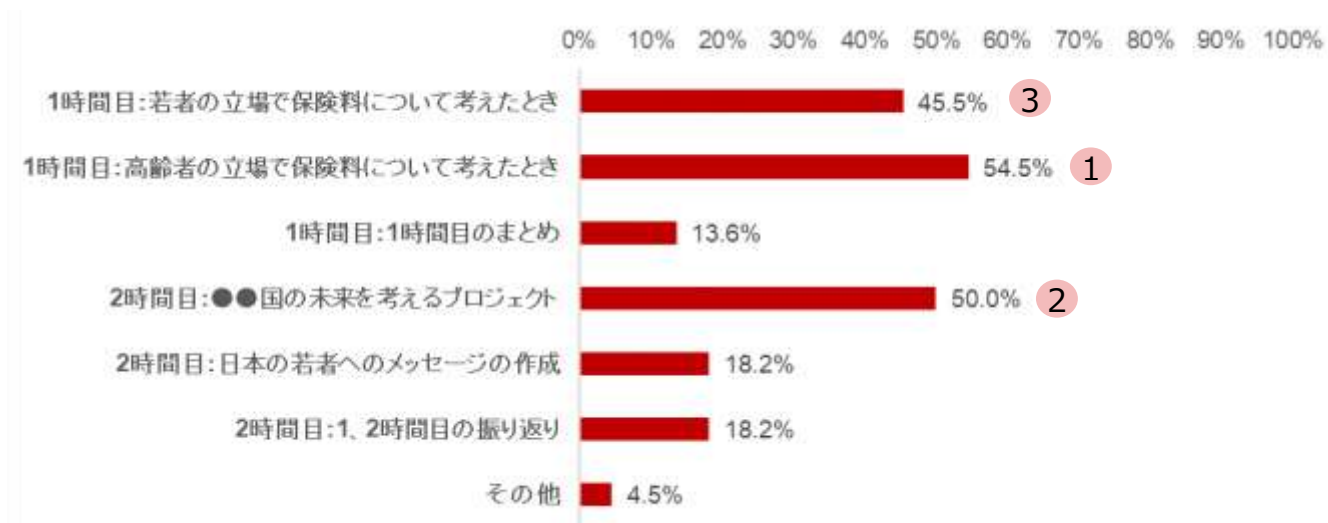
Q4 保険料を支払う必要性について理解できたか？ → 「理解できた」（2名）、「どちらかといえば理解できなかった」（1名）

Q5 教材は分かりやすかったか？ → 「分かりやすい」（3名）

→どちらかといえば社会保障の必要性・重要性についてネガティブな考え方になったのではなく、日本の社会保障制度の問題点・課題を認識したものと考えられる。

年金② 生徒からの回答

- Q2. 授業で学習した次の内容の内、Q1の「授業後」の回答に影響を与えたものを選択してください(複数選択可)



※その他（自由記述）：立場を変えて再アンケートを行った時

→「1時間目:高齢者の立場で保険料について考えたとき」(54.5%)、「2時間目:●●国の未来を考えるプロジェクト」(50.0%)、「1時間目:若者の立場で保険料について考えたとき」(45.5%)の順に多かった。

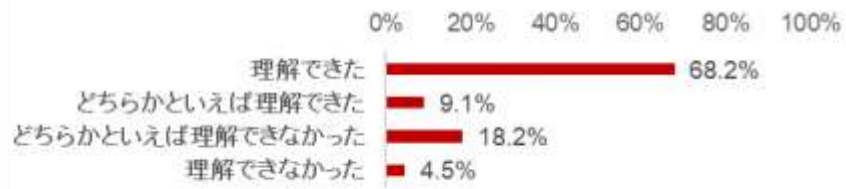
年金② 生徒からの回答

- Q3. 人生には様々なリスクが潜んでいて、社会保障がリスクに対してあなた自身を含めてみんなで支え合う制度であることについて、具体的にイメージが持てましたか



→「持つことができた」(45.5%)、「どちらかといえば持つことができた」(45.5%)が最も多かった。

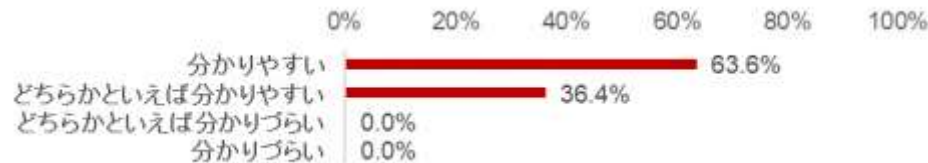
- Q4. 社会人になったら公的年金保険の保険料を支払うことになっていますが、支払う必要性について理解できましたか



回答理由
・保険料を払えば自分も将来お金をもらえるから。(1名)
・高齢者のために必要だと思った。(1名)
・これからの未来のためにも必要だと思ったから。(1名)
・よく知らない人のために保険料を支払うことに抵抗を感じる。(1名)

→「理解できた」(68.2%)、「どちらかといえば理解できなかった」(18.2%)の順に多かった。

- Q5. 授業で使用した教材は分かりやすかったですか



→「分かりやすい」(63.6%)、「どちらかといえば分かりやすい」(36.4%)の順に多かった。

年金② 生徒からの回答

- Q6. 社会保障について理解を深めるに当たって、授業内容として良かったと思うところをお書き下さい

ご意見
<p>(教材)</p> <ul style="list-style-type: none">・若者と高齢者の目線でそれぞれ考えることで、理解を深めることができた。(4名)・選択肢があってそれぞれにメリット・デメリットがついているところ。(1名)・架空の国を例に挙げて授業を進めることで分かりやすかった。(1名) <p>(指導過程)</p> <ul style="list-style-type: none">・自分たちで考える時間があり、理解しやすかった。(1名)・説明が分かりやすかった。(1名)

- Q7. 社会保障について理解を深めるに当たって、授業内容として改善すると良いと思うところをお書き下さい

ご意見
特になし

年金② 教員からの回答

■ Q1. 学習目標と教材との整合性

- 教材は学習指導要領の目標に沿っていると思いますか
→どちらかといえば思う
- 教材は今回の授業を受けた生徒の資質・能力に沿った内容であると思いますか
→どちらかといえば思う

■ Q2. 指導計画等への教材の活用

- 教材は、授業前の指導計画や授業準備の際に活用できるものになっていますか
→どちらかといえば活用できる
- 教材は、授業後の生徒の学力評価において、活用できるものになっていますか
→活用できる(生徒が授業の流れに乗るかどうか、日常生活と関連づけて考えたかどうか、今後の工夫にはどのようなものが考えられるかという問いを持ったかどうか、以上3点において評価に活用できる。)

■ Q3. 授業での指導過程における教材の貢献

- 1時間目:若者の立場で保険料について考えたとき
- 1時間目:高齢者の立場で保険料について考えたとき
- 1時間目:1時間目のまとめ
- 2時間目:●●国の未来を考えるプロジェクト
- 2時間目:日本の若者へのメッセージの作成
- 2時間目:1、2時間目の振り返り
- その他(自由記述):

どちらかといえば活用できる

どちらかといえば活用できる

どちらかといえば活用できる

どちらかといえば活用できる

どちらかといえば活用できる

どちらかといえば活用できる

各学校の生徒の様子に合わせて改造することができるという点で活用できるかと考える。
(教材の初期設定の問題)

年金② 教員からの回答

■ Q4. 教材の良いところをお書き下さい

仕組みの説明をするのではなく、キャラクターとストーリーを設定しているところ。しかもそのキャラクターが生徒の日常生活と遠くない位置にいるということ。ストーリーの中から生まれた問いは、対話につながり、同様に深い学びにつながる。やがては自分で考えられるようになればとも思う。

■ Q5. 教材について改善すると良いところをお書き下さい

働くということに関しての改善点があげられる。授業後の検討会でご教示いただいた点だが、なぜ定年が延長になったのかということを考えさせる展開は有効だと受け止めている。

■ Q6. その他モデル授業案全体に関する意見・感想をお書き下さい

何を教えるのか？ということとは、何を伝えるのかという考え方と同時に何を感じ取らせるのかという面もあり、本教材はどちらかというと後者の役割を果たす可能性があると感じ止めている。教えることで知識が定着する生徒もいるが、試験が終わると忘れてしまう生徒もいるからである。

■ Q7. 授業実施に当たって

- 授業時間: 2時間
- 授業を実施した学年: 1年生
- 授業を受けた生徒数: 27名

医療①

医療① 生徒からの回答

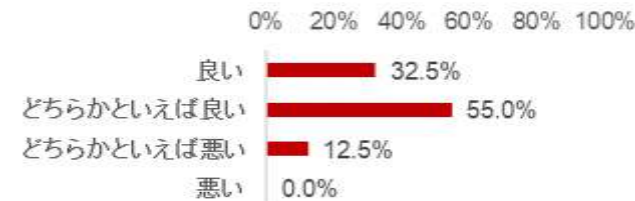
■ アンケート回答者数: 40名

■ Q1. (授業の前後での) 社会保障のイメージの変化を回答してください

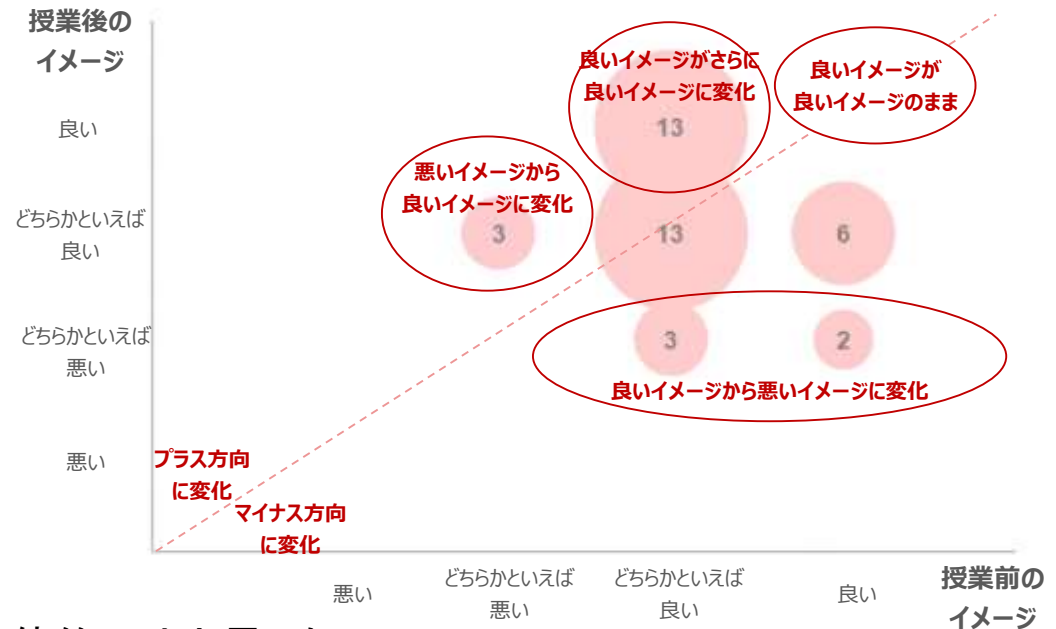
■ 授業前



■ 授業後



■ イメージの変化のバブルチャート



→授業実施により、社会保障のイメージは全体的には上昇した。

<良いイメージから悪いイメージに変化した5名>

Q2 授業後のイメージに与えた学習内容は何か？

→「2時間目：日本の公的医療保険制度の課題」（4名）

Q3 社会保障がみんなで支え合う制度であることについてイメージが持てたか？ → 「持つことができた」（4名）、「どちらかといえば持つことができた」（1名）

Q4 保険料を支払う必要性について理解できたか？ → 「理解できた」（5名）

Q5 教材は分かりやすかったか？ → 「分かりやすい」（4名）、「どちらかといえば分かりやすい」（1名）

→ 社会保障の必要性・重要性についてネガティブな考え方になったのではなく、日本の社会保障制度の問題点・課題を認識したものと考えられる。

医療① 生徒からの回答

- Q2. 授業で学習した次の内容の内、Q1の「授業後」の回答に影響を与えたものを選択してください(複数選択可)



※その他（自由記述）：他の人との意見交換

→「1時間目:国民皆保険制度の必要性」(52.5%)、「2時間目:日本の公的医療保険制度の課題」(40.0%)、「1時間目:医療機関を受診したときの医療費」(35.0%)の順に多かった。

医療① 生徒からの回答

- Q3. 人生には様々なリスクが潜んでいて、社会保障がリスクに対してあなた自身を含めてみんなで支え合う制度であることについて、具体的にイメージが持てましたか



→「持つことができた」(67.5%)、「どちらかといえば持つことができた」(32.5%)の順に多かった。

- Q4. 社会人になったら公的医療保険の保険料を支払うことになっていますが、支払う必要性について理解できましたか

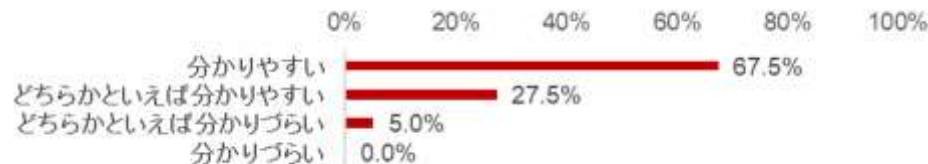


回答理由

- ・共助で成り立っており、各個人の協力が不可欠だと分かったから。(7名)
- ・自分が病気になった時などのリスクを改めて実感できたから。(6名)
- ・困っている人を助けられるから。(5名)
- ・働ける立場にいる人が保険料を払うべきだと思うから。(1名)

→「理解できた」(80.0%)、「どちらかといえば理解できた」(20.0%)の順に多かった。

- Q5. 授業で使用した教材は分かりやすかったですか



→「分かりやすい」(67.5%)、「どちらかといえば分かりやすい」(27.5%)の順に多かった。

医療① 生徒からの回答

- Q6. 社会保障について理解を深めるに当たって、授業内容として良かったと思うところをお書き下さい

ご意見
<p>(指導過程)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・話し合いの時間が多くあり、理解を深めることができた。(10名) ・先生の体験談や例え話により、具体的なイメージを持つことができた。(5名) <p>(教材)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・統計やグラフ等具体的な資料が多くて分かりやすかった。グラフの読み取り力がついたような感じがした。(7名) <p>(学習内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会保障には課題が多くあることを知ることができた。(3名) ・これから社会人になる上で理解しておく必要があると思っていたため、勉強することができて良かった。(1名) ・社会保障の仕組みだけでなく、自分たちが社会保障をより良くできるか主体的に考えられたことが良かった。(1名)

- Q7. 社会保障について理解を深めるに当たって、授業内容として改善すると良いと思うところをお書き下さい

ご意見
<p>(指導過程)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・少しペースが早くてついていくのが大変だった。(1名) <p>(教材)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料が難しい部分があった。(1名) <p>(学習内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実際に社会保障を受けている人がどのような暮らしをしているかが分かりづらかった。(1名)

医療① 教員からの回答

■ Q1. 学習目標と教材との整合性

- 教材は学習指導要領の目標に沿っていると思いますか
→思う
- 教材は今回の授業を受けた生徒の資質・能力に沿った内容であると思いますか
→どちらかといえば思う(社会保障の現状と課題を詳しいデータを示しつつ、これを活用、習得させ、多角的に考えられるため良い。)

■ Q2. 指導計画等への教材の活用

- 教材は、授業前の指導計画や授業準備の際に活用できるものになっていますか
→活用できる
- 教材は、授業後の生徒の学力評価において、活用できるものになっていますか
→評価表(例えばルーブリック集)を作成しているため回答不可

■ Q3. 授業での指導過程における教材の貢献

- | | |
|-------------------------------------|-------|
| □ 1時間目: 社会保険について考えてみよう | 活用できる |
| □ 1時間目: 公的医療保険制度の仕組み | 活用できる |
| □ 1時間目: 医療機関を受診したときの医療費 | 活用できる |
| □ 1時間目: 国民皆保険制度の必要性 | 活用できる |
| □ 2時間目: 日本の公的医療保険制度の課題 | 活用できる |
| □ 2時間目: 日本の公的医療保険制度の課題に対して私たちができること | 活用できる |
| □ 2時間目: 公的医療保険制度を維持するために社会としてできること | 活用できる |
| □ その他(自由記述) : | |

医療① 教員からの回答

■ Q4. 教材の良いところをお書き下さい

1. AL(アクティブ・ラーニング)が多い点
2. 社会保障のあり様をイメージさせるために多くのデータと現状、課題を示している点
3. いくつかの問いの形で授業が構成されている点

■ Q5. 教材について改善すると良いところをお書き下さい

今まで「問い」を授業に積極的に取り入れ実践してきた授業者は、多くの問いとその回答(考えられる反応)も予測して実践できるが、若手や知識伝達型で実践する人にとっては問いと反応のあり様を示さないと難しいと考える。

■ Q6. その他モデル授業案全体に関する意見・感想をお書き下さい

1. さらなる「問い」の明確化
2. 適切な討論時間の設定
3. 説明をコンパクトにイメージできる
4. ルーブリックの作成(生徒が到達点が見える)

■ Q7. 授業実施に当たって

- 授業時間:2.5時間(2コマ半)
- 授業を実施した学年:1年生
- 授業を受けた生徒数:40名

(参考) アンケート調査票

- このアンケート調査は、社会保障教育モデル授業(年金①)の効果検証を目的としています
 ➤ Q1～Q7までの各設問について、該当する選択肢(○・□)に✓を入れるとともに、ご意見を記述欄にお書きください

学年：
組：

【必須回答】 Q1. (授業の前後での)社会保障のイメージの変化を回答してください

	良い	どちらかといえば 良い	どちらかといえば 悪い	悪い
授業前	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
授業後	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

【自由回答】 Q2. 授業で学習した次の内容の内、Q1の「授業後」の回答に影響を与えたものを選択して下さい(複数選択可)

- 1時間目:社会保障について考えてみよう
- 1時間目:公的年金制度の意義
- 1時間目:公的年金制度の仕組みと必要性
- 2時間目:少子高齢社会における公的年金制度
- 2時間目:人生100年時代のリスク
- その他(自由記述)

【必須回答】 Q3. 人生には様々なリスクが潜んでいて、社会保障がリスクに対してあなた自身を含めてみんなで支え合う制度であることについて、具体的にイメージを持ってましたか

持つことができた	どちらかといえば持 つことができた	どちらかといえば 持つことができなかった	持つことが できなかった
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

【必須回答】 Q4. 社会人になったら公的年金保険の保険料を支払うことになっていますが、支払う必要性について理解できましたか

理解できた	どちらかといえば 理解できた	どちらかといえば 理解できなかった	理解できなかった
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

回答の理由があればお書き下さい

【必須回答】 Q5. 授業で使用了教材は分かりやすかったですか

分かりやすい	どちらかといえば分 かりやすい	どちらかといえば分 かりづらい	分かりづらい
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

【自由回答】 Q6. 社会保障について理解を深めるに当たって、授業内容として良かったと思うところをお書き下さい

【自由回答】 Q7. 社会保障について理解を深めるに当たって、授業内容として改善すると良いと思うところをお書き下さい

- このアンケート調査は、社会保障教育モデル授業(年金①)の効果検証を目的としています
 ➤ Q1～Q7までの各設問について、該当する選択肢(○・□)に✓を入れるとともに、ご意見を記述欄にお書きください

【必須回答】 Q1. 学習目標と教材との整合性

教材は学習指導要領(※)の目標に沿っていると思いますか

思う どちらかといえば思う どちらかといえば思わない 思わない

教材は今回の授業を受けた生徒の資質・能力に沿った内容であると思いますか

回答の理由があればお書き下さい

【必須回答】 Q2. 指導計画等への教材の活用

教材は、授業前の指導計画や授業準備の際に活用できるものになっていますか

活用できる どちらかといえば活用できる どちらかといえば活用できない 活用できない

教材は、授業後の生徒の学力評価において、活用できるものになっていますか

回答の理由があればお書き下さい

【必須回答】 Q3. 授業での指導過程における教材の貢献

1時間目：社会保障について考えてみよう

1時間目：公的年金制度の意義

1時間目：公的年金制度の仕組みと必要性

活用できる どちらかといえば活用できる どちらかといえば活用できない 活用できない

活用できる どちらかといえば活用できる どちらかといえば活用できない 活用できない

2時間目：少子高齢社会における公的年金制度

2時間目：人生100年時代のリスク

その他(自由記述)

【任意回答】 Q4. 教材の良いところをお書き下さい

【任意回答】 Q5. 教材について改善すると良いところをお書き下さい

【任意回答】 Q6. その他モデル授業案全体に関する意見・感想をお書き下さい

【必須回答】 Q7. 授業実施に当たって

授業時間

授業を実施した学年

授業を受けた生徒数

※平成30年度学習指導要領 ～科目「公共」の目標～

人間と社会の在り方についての見方・考え方を働かせ、現代の諸課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- このアンケート調査は、社会保障教育モデル授業(年金②)の効果検証を目的としています
 ➤ Q1～Q7までの各設問について、該当する選択肢(○・□)に✓を入れるとともに、ご意見を記述欄にお書きください

学年：
組：

【必須回答】 Q1. (授業の前後での)社会保障のイメージの変化を回答してください

	良い	どちらかといえば 良い	どちらかといえば 悪い	悪い
授業前	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
授業後	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

【自由回答】 Q2. 授業で学習した次の内容の内、Q1の「授業後」の回答に影響を与えたものを選択して下さい(複数選択可)

- 1時間目：若者の立場で保険料について考えたとき
- 1時間目：高齢者の立場で保険料について考えたとき
- 1時間目：1時間目のまとめ
- 2時間目：●●国の未来を考えるプロジェクト
- 2時間目：日本の若者へのメッセージの作成
- 2時間目：1、2時間目の振り返り
- その他(自由記述)

【必須回答】 Q3. 人生には様々なリスクが潜んでいて、社会保障がリスクに対してあなた自身を含めてみんなで支え合う制度であることについて、具体的にイメージを持てましたか

持つことができた	どちらかといえば持 つことができた	どちらかといえば 持つことができなかった	持つことが できなかった
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

【必須回答】 Q4. 社会人になったら公的年金保険の保険料を支払うことになっていますが、支払う必要性について理解できましたか

理解できた	どちらかといえば 理解できた	どちらかといえば 理解できなかった	理解できなかった
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

回答の理由があればお書き下さい

【必須回答】 Q5. 授業で使用した教材は分かりやすかったですか

分かりやすい	どちらかといえば分 かりやすい	どちらかといえば分 かりづらい	分かりづらい
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

【自由回答】 Q6. 社会保障について理解を深めるに当たって、授業内容として良かったと思うところをお書き下さい

【自由回答】 Q7. 社会保障について理解を深めるに当たって、授業内容として改善すると良いと思うところをお書き下さい

- このアンケート調査は、社会保障教育モデル授業(年金②)の効果検証を目的としています
- Q1～Q7までの各設問について、該当する選択肢(○・□)に✓を入れるとともに、ご意見を記述欄にお書きください

【必須回答】 Q1. 学習目標と教材との整合性

	思う	どちらかといえば 思う	どちらかといえば 思わない	思わない
教材は学習指導要領(※)の目標に沿っていると思いますか	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

	思う	どちらかといえば 思う	どちらかといえば 思わない	思わない
教材は今回の授業を受けた生徒の資質・能力に沿った内容であると思いますか	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

回答の理由があればお書き下さい

【必須回答】 Q2. 指導計画等への教材の活用

	活用できる	どちらかといえば 活用できる	どちらかといえば 活用できない	活用できない
教材は、授業前の指導計画や授業準備の際に活用できるものになっていますか	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

	活用できる	どちらかといえば 活用できる	どちらかといえば 活用できない	活用できない
教材は、授業後の生徒の学力評価において、活用できるものになっていますか	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

回答の理由があればお書き下さい

【必須回答】 Q3. 授業での指導過程における教材の貢献

	活用できる	どちらかといえば 活用できる	どちらかといえば 活用できない	活用できない
<input type="checkbox"/> 1時間目：若者の立場で保険料について考えたとき	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
<input type="checkbox"/> 1時間目：高齢者の立場で保険料について考えたとき	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
<input type="checkbox"/> 1時間目：1時間目のまとめ	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

	活用できる	どちらかといえば 活用できる	どちらかといえば 活用できない	活用できない
<input type="checkbox"/> 2時間目：●●国の未来を考えるプロジェクト	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
<input type="checkbox"/> 2時間目：日本の若者へのメッセージの作成	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
<input type="checkbox"/> 2時間目：1、2時間目の振り返り	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
<input type="checkbox"/> その他(自由記述)				

【任意回答】 Q4. 教材の良いところをお書き下さい

【任意回答】 Q5. 教材について改善すると良いところをお書き下さい

【任意回答】 Q6. その他モデル授業案全体に関する意見・感想をお書き下さい

【必須回答】 Q7. 授業実施に当たって

授業時間	<input type="text"/>
授業を実施した学年	<input type="text"/>
授業を受けた生徒数	<input type="text"/>

※平成30年度学習指導要領 ～科目「公共」の目標～
人間と社会の在り方についての見方・考え方を働かせ、現代の諸課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- このアンケート調査は、社会保障教育モデル授業(医療①)の効果検証を目的としています
 ➤ Q1～Q7までの各設問について、該当する選択肢(○・□)に✓を入れるとともに、ご意見を記述欄にお書きください

学年：
組：

【必須回答】 Q1. (授業の前後での)社会保障のイメージの変化を回答してください

	良い	どちらかといえば 良い	どちらかといえば 悪い	悪い
授業前	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
授業後	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

【自由回答】 Q2. 授業で学習した次の内容の内、Q1の「授業後」の回答に影響を与えたものを選択して下さい(複数選択可)

- 1時間目:社会保障について考えてみよう
- 1時間目:公的医療保険制度の仕組み
- 1時間目:医療機関を受診したときの医療費
- 1時間目:国民皆保険制度の必要性
- 2時間目:日本の公的医療保険制度の課題
- 2時間目:日本の公的医療保険制度の課題に対して私たちができること
- 2時間目:公的医療保険制度を維持するために社会としてできること
- その他(自由記述)

【必須回答】 Q3. 人生には様々なリスクが潜んでいて、社会保障がリスクに対してあなた自身を含めてみんな
で支え合う制度であることについて、具体的にイメージを持ってましたか

持つことができた	どちらかといえば持 つことができた	どちらかといえば 持つことができなかった	持つことが できなかった
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

【必須回答】 Q4. 社会人になったら公的医療保険の保険料を支払うことになっていますが、支払う必要性
について理解できましたか

理解できた	どちらかといえば 理解できた	どちらかといえば 理解できなかった	理解できなかった
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

回答の理由があればお書き下さい

【必須回答】 Q5. 授業で使用した教材は分かりやすかったですか

分かりやすい	どちらかといえば分 かりやすい	どちらかといえば分 かりづらい	分かりづらい
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

【自由回答】 Q6. 社会保障について理解を深めるに当たって、授業内容として良かったと思うところを
お書き下さい

【自由回答】 Q7. 社会保障について理解を深めるに当たって、授業内容として改善すると良いと思う
ところをお書き下さい

- このアンケート調査は、社会保障教育モデル授業(医療①)の効果検証を目的としています
- Q1～Q7までの各設問について、該当する選択肢(○・□)に✓を入れるとともに、ご意見を記述欄にお書きください

【必須回答】 Q1. 学習目標と教材との整合性

	思う	どちらかといえば 思う	どちらかといえば 思わない	思わない
教材は学習指導要領(※)の目標に沿っていると思いますか	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
教材は今回の授業を受けた生徒の資質・能力に沿った内容であると思いますか	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

回答の理由があればお書き下さい

【必須回答】 Q2. 指導計画等への教材の活用

	活用できる	どちらかといえば 活用できる	どちらかといえば 活用できない	活用できない
教材は、授業前の指導計画や授業準備の際に活用できるものになっていますか	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
教材は、授業後の生徒の学力評価において、活用できるものになっていますか	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

回答の理由があればお書き下さい

【必須回答】 Q3. 授業での指導過程における教材の貢献

	活用できる	どちらかといえば 活用できる	どちらかといえば 活用できない	活用できない
<input type="checkbox"/> 1時間目: 社会保障について考えてみよう	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
<input type="checkbox"/> 1時間目: 公的医療保険制度の仕組み	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
<input type="checkbox"/> 1時間目: 医療機関を受診したときの医療費	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
<input type="checkbox"/> 1時間目: 国民皆保険制度の必要性	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

- 2時間目: 日本の公的医療保険制度の課題
- 2時間目: 日本の公的医療保険制度の課題に対して私たちができること
- 2時間目: 公的医療保険制度を維持するために社会としてできること
- その他(自由記述)

活用できる	どちらかといえば 活用できる	どちらかといえば 活用できない	活用できない
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

【任意回答】 Q4. 教材の良いところをお書き下さい

【任意回答】 Q5. 教材について改善すると良いところをお書き下さい

【任意回答】 Q6. その他モデル授業案全体に関する意見・感想をお書き下さい

【必須回答】 Q7. 授業実施に当たって

授業時間

授業を実施した学年

授業を受けた生徒数

※平成30年度学習指導要領 ～科目「公共」の目標～

人間と社会の在り方についての見方・考え方を働かせ、現代の諸課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。